

産業部長 田んぼアートは、田んぼをキャンパスに見立て、穂や葉の色の異なる稲を使い、巨大な絵を描くもので、観光客誘致施策として、取り組む団体も増えてきてい



鈴木一彦 議員

田んぼアートによる観光客誘致について

一般質問

一般質問は市政全般について、市長など執行部の考え、方針などを質問することです。各議員の一般質問の中から一つ取りあげて要旨を掲載いたします。

質問 田んぼアートは、場所の選定が重要であり、小町の里を訪れる観光客を分散させないためにも、小町の里あたりを候補地として考えられないか伺います。

ます。

本市でも都市住民と農村の交流事業の一環として、また、観光面からは集客力アップを目的とした田んぼアート事業の実施を目指しており、今年度から準備を進めています。本市の田んぼアートは、面積は約3千平米程度を想定しておりますが、高さのある展望場所に隣接した水田の確保や観覧者の駐車スペース等の課題があります。

今後は、これら課題の調査検討を行い、平成26年度の実施を目標に、農業者や関係機関と連携を図りながら取り組んでまいります。小町の里周辺でという話については、有力候補の1つとして考えております。

(掲載以外の質問事項)
・県道小野土浦線への自転車専用レーンの設置について
・ボランテニア活動の場の充実について



外来生物カワヒバリガイについて



福田一夫 議員

質問 外来生物であるカワヒバリガイが生息範囲を拡大し、通水障害や悪臭被害等を引き起こしている。外来生物法を踏まえ、この貝に対する被害対策について伺います。

カワヒバリガイは、淡水に生息する体長2〜3センチメートルの外来性二枚貝で、中国からの輸入シジミに交じって入ったのが原因と言われており、県内でも生息域を年々拡大している状況にあり、平成18年2月に特定外来生物に指定されています。カワヒバリガイの被害対策は、農林水産省が本年3月にカワヒバリガイ被害対策マニュアルを策定いたしました。が、現状では、取水槽等の壁面に張りついた貝を人力ではがす等の対処療法的な方法に頼らざるを得ない状況です。霞ヶ浦の生息域の調査や被

害状況を把握するアンケート調査を踏まえ、茨城県では対策を検討することであり、市としては、茨城県や霞ヶ浦用水土地改良区との連絡を密にし、国、県の今後の被害対策について注視しながら、対策を進めたいと考えています。**(掲載以外の質問事項)**
・がん教育の強化について

土浦駅西口を起点とする道路における車両の一方通行化の検討について



篠塚昌毅 議員

質問 土浦駅前から亀城公園に向かう中央立田線とつくば方面に向かう土浦駅西通り線を一方通行とすれば、スムーズな流れになると考えますが、見解を伺います。

一方通行化によるメリットは、現在の道路で車線数が増やせることから、交通の流れがスムーズになる。荷さばき場の設置の検討ができる等がある。

しかし、デメリットとしては、通過交通が、一方通行化

よって規制される道路を迂回するため、周辺道路が混雑する可能性もある。さらに既存のバス路線変更や荷おろし停車が、右側の商店ができなくなる等の問題もあると思われる。

道路整備には長期的時間を要するという状況からすると、一方通行の実施は、暫定的な措置としては、比較的最早い対応も可能であることから、交通混雑の解消の1つの方策と考えられるので、今後、メリットやデメリットを十分に検証するとともに、関係機関、特に地元の意向も伺いた

議会を傍聴してみませんか 詳しくは、議会事務局へ

インターネットの場合は、「土浦市議会事務局」と入力して検索してください。「土浦市議会ホームページ」→「傍聴」で詳しくらせてしております。

電話 029(826)1111
内線 2277
FAX 029(826)3379